

ひらつかの風

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。



CONTENTS

- P.1 平塚市情報
- P.2 団体レポート「ニュードクラブ」
- P.3 センターレポート
- P.4 センター情報

団体レポート

ー 小さな挑戦が紡ぐまちづくりー 『ニュードクラブ』



平塚市情報

御寄附をいただきました！

この度、株式会社アクアリーフ様から「平塚市協働のまちづくり基金」へ3万円の御寄附をいただきました。

この基金は平塚市市民活動推進補助金などの市民活動団体や地域団体等による公益的活動への補助等に活用されています。

株式会社アクアリーフ：<https://www.aqualeaf.co.jp/>



団体レポート

—小さな挑戦が紡ぐまちづくり— 『ニードクラブ』

ニードクラブは、地域の人や若い世代が「やってみたい」を形にできる場をつくり、小さな挑戦からまちづくりを進めています。

今回は、代表の柳さんと、現在進行形のプログラムに参加している学生の皆さんにお話を伺いました。



▲代表の柳さん

■ニードクラブができるまで

「ニードクラブ」は、綿を栽培し、糸を紡ぎ、織った生地から服を作ること、「日本に Cotton の産業を新しくつくる」ことを目指して、2023 年に平塚で始まったプロジェクトです。その後、「平塚に Cotton の産業をつくる」という考えを共有しながら、大人と子どもが共に学び、成長していく場として、2025 年に市民活動団体「ニードクラブ」が立ち上げられました。

現在は、平塚市立野町にある古民家「マニマニ」でニードクラブと平塚中等教育学校の探究プログラム「じぶんラボ」の学生たちが協力し、既存の建物を新しく活用できるよう取り組んでいます。



▲ニードクラブ ロゴ

▲マニマニでの作業の様子



■活動を通して挑戦するきっかけをつくる

活動の狙いは、学生自身が意見を持って取り組めるようにすること、活動を体験することで「将来こんなことがしたい」と思うきっかけとなり、興味を持ったことに飛び込んで挑戦してもらうことだと柳さんはいます。

学生たちに感じてほしいことは、「失敗を失敗とは捉えずに、一つの経験として捉えてほしい。失敗したらそれで、それも大事な経験」そして学生たちに「やってみたらできる」という感覚を持ってほしいと話します。

正解をただ知るのではなく、自分自身が経験しそれが正解だったのか、失敗だったのかを知ること、それが次に同じ失敗をしないために考えることやその経験をほかの人に伝えていくことに繋がります。

今回取材した活動は、初めて行うことも多く、必ずしも最初から正しいやり方が分かっているわけではありません。そのためトライ & エラーを繰り返しながら作業を進めています。



■自分たちの手で活動拠点をつくる

訪問した日は「マニマニ」の玄関の土間に、板敷きを組み上げる作業を学生と共に行っていました。学生一人一人が考えながら作業を進め、分からないことがあったときは考えを共有し正解を見つけていく姿がそこにはありました。

学生たちに活動について尋ねると、

- ・「DIY など学校生活だけでは経験できない作業を体験できる」
- ・「やりたいことを実行して形にできることや、できたときにやりがいを感じる」



という声が聞かれました。

自分の意見や「やってみたい」と思ったことを実際に試し、仲間と協力して取り組める環境の大切さが伝わってきます。

■活動を地域につなげていく

柳さんは、活動を通して新しい仲間に出会うことができ、将来的には「学生たち自身がつくったまち」になるようにこの活動が続いてほしいと話していました。

活動の方向性として、「教える教育」という形ではなく、まずは大人が楽しそうに活動している姿を見せる。その姿を見た若者たちに「面白そう」と感じてもらい、活動に参加してほしいと考えています。個性や目的に合わせて誰でも参加可能なのが魅力でもあります。

そして、新しいことに挑戦し、興味を持った場所に飛び込んでいく気持ちが、地域の中に広がってほしいとも話していました。今後は、さまざまな若者が地域活動に関われるようにしていきたいとのこと。

ニードクラブがつくろうとしているのは、何か一つの完成した場所ではなく、若者たちが「やってみたい」と思ったときに、一歩を踏み出せる地域なのかもしれません。

- ・大人も、子どもも、学生も。
- ・誰かが楽しそうに始めたことに、「面白そう」と加わってみる。

そんな小さな挑戦が重なっていくことで、いつか「自分たちがつくったまち」と呼べる風景が生まれていくのではないのでしょうか。



▲第19回ひらつか市民活動センターまつり出展時の様子

お問合せはこちら ● ニードクラブ

ホームページ：

https://nyudo.co.jp/project/nyudo_club

メール：

info@nyudo.co.jp



センターレポート

第5回 支援者間交流会を開催しました

『「社会保障ゲームで支援の仕組みを学ぶ & ソーシャルワークの現場から」～地域と専門職との連携を考える～』をテーマとして6月29日(月)に開催しました。

講師 ◆ソーシャルワーカー/社会保障ゲーム個人連携ファシリテーター 根本 真紀氏
参加者 ◆地域の福祉関係者、市内の介護事業所、地域包括支援センター、相談機関、支援事業所(高齢・障がい・子ども等)、NPO・ボランティアグループ等 計45名

今回は“社会保障ゲーム”というカードゲーム型の対話ツールを通して、支援の狭間におかれた人(主に未成年)に迫った困りごとをどのように解決していくか、実際に起こり得るケースを想定した交流型ワークショップを実施しました。制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、支援が定まらない困りごとに対して、課題を整理して解決していくアプローチを学びました。

受講された支援団体からは、「住み慣れた地域で生活できることがまずは基本だと感じた」「どんな支援を受けられるのかを知ることの大切さも実感した」等の感想をいただき、また、制度のありようについての意見交換も活発に行われました。

支援者同士の顔の見える関係づくりが課題解決のきっかけに繋がります。次回は「情報提供と情報共有」を促す交流会を予定していますので、是非ご参加ください。



▲講師の根本さん



▲グループワークで社会保障ゲームを実践！



「夏休みこどもわくわくフェスタ2026」開催報告

7月25日(土)10:00～14:00、夏休みに遊んで学べるイベントとして「夏休みこどもわくわくフェスタ」を開催しました。当日は1階の崇善公民館と2階のひらつか市民活動センターの全館を使用し、18団体に出演いただきました。今年は新しい試みとして「学生チャレンジ枠」を設け、市内在住・在学の学生グループ2団体の参加がありました。延べ1860名にご来場いただき大盛況の1日となりました。



▲今年もバルーンアーチが皆さまをお迎え♪



▲オリジナルの「ロボ隊長」を作ろう！



▲顕微鏡でメダカを観察



▲漂着物でアクセサリー作り



▲親子で一緒に絵本の読み語り



▲ポッチャに挑戦！



▲水中ロボットを操作してみよう！



▲東海大学ボランティアサークルうえるふえあ～の皆さん

出展団体出展一覧 18団体(敬称略・出展番号順)

- あいあいリトミック ●一般社団法人 F-STYLE スポーツクラブ
- フラワーセラピー研究会平塚地区 ●おもちゃの病院ドクターくるりん
- ひらつか防災まちづくりの会 ●湘南クリエイターズプロジェクト
- MARU ●親と子の寺子屋ふれあい自遊塾 ●崇善地区社会福祉協議会
- NPO法人NPO教育かながわフォーラム ●ボーイスカウト平塚市連絡協議会
- 高齢者よろず相談センターゆりのき ●竹遊会 ●湘南日本語会
- 崇善おはなし会 ●平塚地区BBS会 ●ひらつか災害ボランティアネットワーク
- 東海大学ボランティアサークルうえるふえあ～



当日は運営のボランティアとして、金旭中学校より2名、平塚学園インターアクトクラブより3名、東海大学ボランティアサークルうえるふえあ～より7名にご協力いただきました。

ご参加いただいた皆さま、ご来場いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。



センター情報

● 団体活動にお役立てください!

「ご縁のえんがわ」

やりたいこと&やっていることを持ち寄って、話して聞いてつながる場。
偶数月の最終火曜日に開催します!
どなたでもご自由にお越しください。参加無料。
スタッフがセンターのえんがわでお待ちしております♪

日時●10月27日(火) 18:00~19:00

場所●ひらつか市民活動センター ミーティングスペース



「なるほど助成金講座」

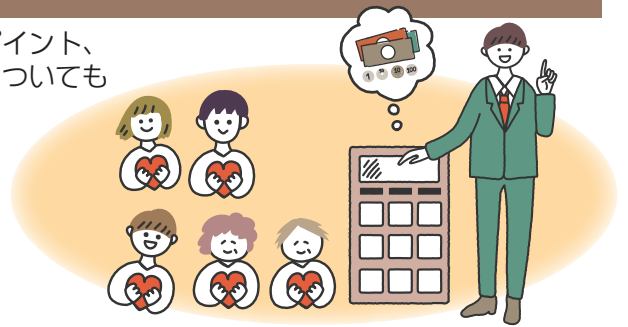
日本郵便年賀寄附金助成金の担当者から制度の概要や審査のポイント、申請書の書き方等を伺います。また平塚市市民活動推進補助金についても説明します。

助成金の申請を検討している方は、是非ご参加ください。

日時●10月31日(土) 14:00~16:00

場所●ひらつか市民活動センター 会議室 B

定員●30名(参加無料)



「TOKAI グローカルフェスタ 2026」へ出展します

ひらつか市民活動センターは東海大学で開催されますTOKAI グローカルフェスタに今年も出展します。
たすけあい文庫やNPO相談などいつものセンターから飛び出して出展します。

お越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

日時●10月10日(土) 10:30~15:00

場所●東海大学湘南キャンパス(平塚市北金目4-1-1)

お問い合わせ●平塚市協働推進課

電話●0463-21-9618



● ひらつか市民活動センターのホームページをぜひ
ご活用ください!!



センターから発信する様々な報告・情報を
右記の二次元コードから見られます。



センター情報



助成金情報



団体イベント情報



センター開催報告

編集後記



ニードクラブの柳さん、そして携わる学生の皆さんの姿を見て、試行錯誤を重ねながら仲間と協力し合える環境が、地域の人のつながりを生んでいると感じました。大人がすぐに正解を教えるのではなく、学生のやってみたいという気持ちを尊重していたことが、特に印象に残りました。(齊)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00~22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045

神奈川県平塚市見附町 1-8

TEL●0463-31-7571 FAX●0463-35-6601

Eメール●info@hiratsuka-shimin.net

URL●https://hiratsuka-shimin.net

センター登録団体数(2026年8月15日現在)

登録団体数●454団体

(内訳 市民活動団体…321団体、一般団体…133団体)

